

JSCE2020防災プロジェクト推進小委員会 活動報告

2024年5月21日

◆活動概要

JSCE2020-2024防災プロジェクト「土木を軸に国難災害に立ち向かう：複合・巨大災害の全貌解明と横断的対応体制の提案」の活動を円滑に進めるため、プロジェクトのコアメンバーによる推進小委員会にてプロジェクト全体の連絡，調整，方針決定を行う。

◆ 期 間：2020年5月～2025年3月（4年10ヶ月）

◆ 委員長：目黒公郎

◆ 幹事長：吉見雅行

◆ 委員数：13名（JSCE2020防災プロジェクトのコアメンバーは多数）

◆ 2023年度の活動報告

1) 委員会・WG活動等

オンラインでの打合せを随時実施

2) 行事等

2023/8/30 分野融合試行WS@土木学会 6名参加

2024/3/11 分野横断WS@土木学会 45名参加

◆ 2024年度の活動計画

1) 委員会・WG活動等の予定

プロジェクトの進め方に関する打合せを実施する。幹事会10回程度を予定

2) 行事等の予定

2024/9/2 研究討論会（オンライン）@土木学会全国大会

オンラインワークショップを複数回開催予定

3) 出版物等の予定

なし

本プロジェクトの目的と期待される成果

委員長：目黒公郎（東京大学）

- 国難レベルの災害となる可能性の高い「首都直下地震」や「南海トラフ巨大地震」による地震災害や高潮・洪水を含め激甚化する複合自然災害から、人々の人命と財産、生活環境と社会機能、そして国土を守り維持すると共に、災害による国の不測事態を回避する実現可能な方策を広範な知見を基に提示する。
- 国難災害に取り組むための、分野横断および官・民・学横断的対応体制を提案する。

プロジェクト期間：2020～2022年度(第1期)

プロジェクト期間：2023～2025年度(第2期)

- 幾つかの国難災害の全体像の提示と課題の整理

活動計画1（JSCE2020防災プロジェクト）：

「首都直下地震」と「南海トラフ巨大地震」、さらに複合災害を対象に、時系列・空間的広がりをもつ災害の全体像を多分野体制によって多視点（立場、専門、職業、地域別）で具体的に提示するための活動を行う。2022年度までに電力・水道・廃棄物・交通・災害医療などの各分野の専門家・実務者を集めて実施したブレインストーミングワークショップを他分野（政治・経済・法律・環境など含む）にも展開・拡大し、現状の知見による災害像を描く。こうした活動を通じて、多視点・多角的に描かれた複雑事象から、分野間のギャップや災害の巨大さに起因する盲点などの抽出を試行する。

成果目標：

多分野の専門家・実務者を集めたワークショップを実施し、各分野における国難災害全体像フローチャートを作成する。

数値目標：

2022年度までに作成したフローチャート5分野分をさらに肉付けしていくと共に、新たな分野におけるフローチャートを4分野に亘って作成する。最終報告書等として取りまとめる。

活動計画2（JSCE2020防災プロジェクト）：

本プロジェクトでは、過去の国難的災害（関東大震災、阪神淡路大震災、東日本大震災等）に関する18万件の新聞記事、約4万編の学術論文、過去20年間分の防災白書、計18件の災害対応検証報告書などを収集した上でデータベース化しており、これら収集したデータベースを基に、「災害関連情報検索・分析プラットフォーム（仮）」を開発した。

これまで開発した基本機能を改善・改良していくと共に、学会や分野間のギャップや、過去の国難災害間の比較など、ユーザが新たな気づきを得ることのできる分析システムとしてさらに更新を図る。また、土木学会内あるいは対外的に公開し、フィードバックを得る。

成果目標：

これまで収集した情報に加え、分野別の教訓集等の新たな資料を追加すると共に、学会や分野間のギャップや、過去の国難災害間の比較などの新たな分析機能を追加。分析システムを有効活用できるよう各所と調整する。

JSCE2020防災プロジェクト： 2023年度報告

- 国難災害の多角的可視化のためのワークショップの開催
 - これまで、電気・水道・廃棄物・交通・災害医療・災害看護・通信分野等の専門家を招き、土木および土木分野以外の視点から見た課題の抽出と分野間に存在するギャップや盲点を炙り出してきた（継続実施）
 - 2023年度は分野別事象の統合を模索しWSを実施した
- 「災害関連情報検索・分析プラットフォーム（仮）」の構築
 - 過去の国難災害（関東大震災、伊勢湾台風、阪神淡路大震災・東日本大震災）に関する新聞記事（18万件）、学術論文（4万本）、過去20年間分の防災白書、自治体による課題検証報告書(20本)などを収録。
 - キーワード検索機能の他、災害間の時系列比較等を可視化する機能など。
(※新聞記事に関する著作権の調整ができていないため、現時点で未公開)

分野別ワークショップ+融合ワークショップの開催

首都直下地震・南海トラフ巨大地震



2022年度 水道, 廃棄物, 医療, 交通WS
2023年度 分野融合WSを開催



2024/3/11融合WS

活動内容の広報に課題：
2022年度のワークショップのうち後半2回について記者に依頼してnote記事を作成，公開
(2023/5/29)

今後，note記事等でプロジェクト広報に努めたいところ。

<https://note.com/kokunansaigai>

The screenshot shows a note article on the '国難災害プロジェクト' page. The header features the 'note' logo and a search bar. The main title is '国難災害プロジェクト' in large, bold characters. Below the title, there is a navigation menu with 'ホーム', '記事', 'メンバーシップ', 'マガジン', 'スキ', and '月別'. The article content includes a profile for '国難災害プロジェクト | 土木学会' with a bio and a '設定' button. The main text of the article is '命を救うための支援と受援を高める——国難災害ワークショップ 災害医療編'. There are two article thumbnails: one with the title '命を救うための支援と受援を強くする 国難災害の全体像を描くワークショップ 災害医療編' and another with '交通が被災しても暮らしを存続させていく——国難災害ワークショップ 交通編'. The article is published by '国難災害プロジェクト | ...' and is 51 seconds old.

<https://note.com/kokunansaigai/n/2a35e215d746>

新聞記事・関連文献の検索プラットフォームの構築

- 新聞記事をキーワード検索できるプラットフォームを構築
- 抽出記事数の推移やワードクラウドの表示、時期別の関連語も合わせて可視化

新聞記事データベース 災害別検索 論文検索 関連文献検索

キーワード検索

検索モード

OR AND

検索対象 DB

東日本大震災

抽出記事数の推移

抽出記事の特徴語ワードクラウド

月

1. 発災一週間後まで 2011-03-11--2011-03-17 / 35件

キーワードの関連ワード(PMI値)

ワード	関連度
軽傷	7
給油	7
張り紙	7
欠航	6
日明	6
幹線道路	6
転覆	6
通行止め	6
ガソリンスタンド	6
陥没	6

1-10 of 99 rows

← 前の10件 次の10件 →

ID	タイトル	日付
166	津波・揺れ、西にも和歌山や高知、最大2.6メートル 東日本大震災【大阪】	2011/3/11
101	県北部、震度6強 5人死亡・負傷者20人 倒壊など混乱続く 東日本大震災/茨城県	2011/3/11
163	津波、那智勝浦で1.3メートル 19万人に避難勧告・指示 東日本大震災/和歌山...	2011/3/11
130	津波到達、県内も警戒 13市町村で避難勧告 東日本大震災/鹿児島県	2011/3/11
94	宇都宮、震度6強 県内1人死亡、55人重軽傷 東日本大震災/栃木県	2011/3/11
209	都内死者5人に 26時間ぶり救出も 東日本大震災/東京都	2011/3/12
286	人も町も、消えた「母を捜して」泣き叫ぶ少女 宮城・気仙沼 東日本大震災	2011/3/12
211	戻らぬくらし 停電・陥没・けが・交通網ストップ・蔵前壊 東日本大震災/秋...	2011/3/12
237	何が起きているのが安全、何キロ離れたら 福島原発で爆発、避難指示 東日本...	2011/3/12
215	動脈寸断、避難に疲れ 理髪店壊・住宅浸水・コンビニの棚は空 東日本大震災/...	2011/3/12

県北部、震度6強 5人死亡・負傷者20人 倒壊など混乱続く 東日本大震災/茨城県

11日に発生した三陸沖を震源とする地震は、震度6強の揺れを観測した県北部をはじめ、県内にも大きな被害を残した。死者は少なくとも5人、けが人は20人以上となった。停電で街は暗闇となり、余震が続く中、人々は不安の夜を過ごした。県警などのまとめによると、11日午後6時8分現在、県内で少なくとも計5人が死亡し、負傷者20人。1人が心肺停止状態となっている。そのほか行方分からない人も出てきている。家屋は全壊6棟、半壊1棟、一部損壊など12棟。高萩市本町で接骨院が倒壊し、3人が下敷きになり、うち1人が死亡。稲敷市消防本部によると、稲敷市内で女性が死亡した。坂東消防署によると、常総市三坂町、内海登志子さんの死亡が確認された。龍ヶ崎市内でも男性が心肺停止。鹿嶋市泉川の「みなと運送」北埠頭倉庫付近では、1人が津波で流された模様。常陸那珂港、タービン建屋に5人が取り残されている。高萩市の民家の車庫の上から海を見ていた4人中3人が津波にさらわれたとの情報もある。鹿行大橋の中央部が倒壊。近くで工事をしていた人が乗用車が落ちるのを見たという。消防がゴムボートで捜索中。東海村の原子力発電所では、施設6階燃料プールで水が漏洩した。つくばみらい市の日東つくば工場では支柱が落下し、男性2人が負傷。牛久市の店舗では女性が軽傷。龍ヶ崎でも1人が軽傷。守